

2012 年度報告書（研究員）

氏名	平田 知久
職位	研究員（グローバル COE）
<p>研究概要</p> <p>グローバル COE 最終年度のまとめとして、これまでかかわってきた研究（テレパシー研究、ジモト研究、インターネットカフェ研究）についての3つの論文を完成させた。なお、業績リストに掲載したものに加えて、Routledge より 2013 年 5 月に出版される（現在印刷中）デジタル・デバイスに関する英語書籍の 1 章をなす論文、およびグローバル COE の書籍出版計画における 3 章分の論文（中間圏（フィールド調査班）に関する論文、親密圏と中間圏の思想史（理論研究班）に関する論文、移動に関する英語論文）を完成させ、COE 海外パートナーの一人である台湾国立大学の Lee Ming Tsung 氏が執筆した、台湾における日本のテレビドラマの受容に関する論文の翻訳を行った。</p> <p>また、アジアのインターネットカフェ利用に関する、下記の業績リストに掲載した 2 つの英語報告に加え、2013 年 3 月にはフィリピン大学ディリマン校でフィリピン人海外労働者とインターネットカフェの関係に関する英語報告を行った。さらに、グローバル COE 次世代出版助成を受け、社会情報学会（Society of Socio-Informatics）第 1 回大会において、「ソーシャルネットワーキングの受容（Adoption of Social Networking）」という表題で、国際若手英語ワークショップを主催し、それらの報告をもとにした Proceedings を完成させた。</p>	
<p>業績リスト（著書、論文、報告、その他に分けて主要なものを記入する）</p> <p><b>[論文]</b></p> <p>01. 平田知久, 2012, 「E. A. ポーと二つのテレパシーの交錯 ——二人のジャックによせて (2)」『Becoming』BC 出版, No. 30, pp. 76-104.</p> <p>02. 平田知久, 2012, 「Key 半島を巡る私論＝試論」『GCOE Working Papers 次世代研究 91 方法としてのジモト——地域社会の不可視化された領域をめぐるフィールドワーク』京都大学グローバル COE プログラム, pp. 92-117.</p> <p>03. Hirata Tomohisa, 2012, <i>GCOE Working Papers Next Generation Research 92 Singing an Immigrant Song for a Child or Becoming the Father of a Baby Who Is Gonna Crawl: Internet Cafes and the Statuses of “Migrants” in Japan and Hong Kong</i>, 京都大学グローバル COE プログラム, 17P.</p> <p><b>[報告]</b></p> <p>01. Hirata Tomohisa, 2012, “Digital Inclusions in Internet Cafes and Their Problems: Comparative Study on the Internet Access for Overseas Filipina Domestic Workers in Hong Kong, Singapore and Taipei,” The 2nd ISA Forum of Sociology, The University of Buenos Aires, Argentina.</p> <p>02. Hirata Tomohisa, 2012, “The Price of Using the Internet without Shame: ‘Bar Girls’ in Bangkok and the Internet Cafe as Infrastructure,” The 5th Next-Generation Global Workshop, Kyoto University.</p>	

